

都議会予算特

# 都の水ビジネス追及

## 吉田都議 貧困層の利用を排除

日本共産党の吉田信夫東京都議は、7日の都議会予算特別委員会で、都が進出を計画している海外水ビジネス（水道供給事業）問題を取り上げ、世界各地

で企業の利益優先の水ビジネスによって貧困層が水供給から排除されている事態を知らな

いまま推進するのかわからず、世界で水メジャーが水道料金を高騰させたことから貧困層の反発を受け撤退している事例の認識を問われ、答弁に立たず

に「知らないよ」とヤジを飛ばしました。吉田氏は、改めて知事に、水ビジネスによって弊害もたらされているという指摘を否定するのかわたし

た。知事はまたもや答弁に立たず、代わりに尾崎勝水道局長は「一部の責任で設備投資することや、貧困層へ無料または低料金での水提供の重要性を強調してい

ることを紹介。「水道局が行うべきは、無償の技術的、教育的援助を拡充・発展させることだ」と主張しました。

東京都の海外水ビジネス 都が乗り出した水ビジネス第1号は、三菱商事、日揮、産業革新機構、マニラ・ウオーターなど企業共同体が買収したオーストラリアの水道事業会社「UUA」に協力し、都の外郭団体「東京水道サービス」が事業のコンサルティング業務に参画するものです。